公益財団法人韓国教育財団

2023年度(令和5年度)事業計画

Ⅰ　公益目的事業

1　奨学金の支給事業

学業成績が優秀であるにもかかわらず、経済困難のため修学継続が困難な学生に対して奨学金援助を行い、社会に貢献できる人材を育成するのが支給目的である。

1966 年(昭和 41 年)に第 1 回の支給を開始して、2023 年(令和 5 年)は 57 年目を迎える。

支給対象	人数(22 年度)	1 人当り年間支給額	支給総額	備　考
国内　高校生	15 名(21 名)	120,000 円	1,800,000 円	一般奨学金
国内　大学生	60 名(64 名)	500,000 円	30,000,000 円	一般奨学金
国内　大学院生	6 名(3 名)	1,000,000 円	6,000,000 円	一般奨学金
	3 名(3 名)	1,000,000 円	3,000,000 円	碧峯奨学金
海外　MBA 課程	1 名(1 名)	12,000,000 円	12,000,000 円	碧峯奨学金
合計	**85 名(95 名)**		**52,800,000 円**	

＊ 奨学生人数のカッコは 2022 年度支給計画の人数

なお、2023 年度は、財団発足(在日韓国人教育後援会を含む)60 周年を迎えるため、財団の歴史を振り返るとともに今後の財団発展方策とビジョンをまとめた書籍の作成と 60 周年記念式(仮称)を推進中。本イベント及び書籍は、財団の周知と寄附金の広報誌として活用し、その寄付金は奨学金事業などの公益事業の費用に当てるものとする。

【財団創立 60 周年記念式】

開催日(予定):2023 年 7 月 21 日(金)

開催会場(予定):ホテルニューオータニ

2　韓国学の振興

①　韓国語能力試験の管理

駐日本国大韓民国大使館主管の韓国語能力試験を財団がサポートし、その管理業務を担当する。近年、韓国語学習者の増加にともない多くの受験申請があることから、運営と管理の効率化を図るべく財団 HP を含む管理システムの開発を進めている。また、受験者の利便性を高める取り組みとして試験会場の数の拡大中。なお、昨年 7 月に実施された TOPIK フォーラムを好評につき本年も第 2 回を開催する予定。

2023 年度試験実施予定日

回　数	試験実施日	願書受付期間	会場(昨年度会場数)
第 87 回	04 月 09 日(日)	01 月 06 日～01 月 20 日	東京など 46 会場(42 会場)
第 89 回	07 月 09 日(日)	04 月 25 日～05 月 09 日	未定(40 会場)
第 90 回	10 月 15 日(日)	07 月 11 日～07 月 25 日	未定(50 会場)

【第 2 回 TOPIK FORUM】
開催日(予定):2023 年 7 月 15 日(土)
開催会場(予定):明治大学

② 韓国語弁論大会への支援

今年度も継続して、在日本大韓民国民団及び教育院が共催する在日韓国人などの韓国語学習者より自らのテーマを韓国語で発表する弁論大会へ財団は支援金を支出する。
主管: 福岡韓国教育院
予定日: 2023 年 6 月 3 日(土)
予定場所: オンライン開催
支援額: 700,000 円

③ 在日韓国人教育研究大会の後援

今年度も継続して、在日韓国人及び韓国派遣教員が各々教育に関わる研究を発表する官民後援の研究大会が開催される予定で、財団からは後援金を支出する。
予定日: 2023 年 8 月中旬予定
主管: 現在調整中
支援額:700,000 円

Ⅱ 収益事業

1 不動産賃貸

今年度も継続して、所有する居住用マンションの賃貸収益を奨学金給付の財源の一助とする。
所要の修繕やリフォームも実施して入居率の改善に努めるとともに、賃貸料水準の維持を図り、以って奨学金支給事業の安定的な財源とする。また、効果的な収益のため収益率などを調査し、収益性の低い住宅の売却や買い替えを 2022 年度から検討中である。

Ⅲ その他の事業

今年度の新規事業等、その他の事業の計画はない。